

令和8年度第2回

高松市高齢者保健福祉・介護保険制度運営協議会

第9期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況と次期計画について

- | | | |
|----|----------------------------------|------|
| 1. | 第9期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について | …… 1 |
| 2. | 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について | …… 5 |
| 3. | 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について | ……13 |

1. 第9期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

(1) 成果指標の達成状況

[]内は目標値

指標名(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(目標値)8年度
① 高齢者福祉の充実に対する市民満足度 (%)	26.3 [25.8]	31.2 [26.0]	24.2 [26.6]	26.9 [26.9]	27.2
② 介護・支援を必要としていない高齢者の割合(自立高齢者率) (%)	78.9 [78.5]	78.8 [78.5]	78.4 [78.8]	78.1 [78.8]	78.8
③ 介護・支援を必要としていない後期高齢者の割合(自立後期高齢者率) (%)	64.3 [62.1]	65.4 [62.1]	65.8 [65.4]	66.0 [65.4]	65.4
④ 生きがいがある高齢者の割合 (%)	61.0 [59.0]	(※1) —	(※1) —	59.5 [62.0]	—

(※1) 3年毎の「高齢者の暮らしと介護についてのアンケート調査」により確認。

* 9期計画期間のうち指標①は令和6年度は目標値を下回ったが、令和7年度は目標値を達成した。
 指標②は令和6年度、7年度ともに目標値を下回った。
 指標③は目標値を達成した。
 指標④は令和7年度指標を2.5ポイント下回った。

1. 第9期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

(2) 基本目標・重点課題の達成状況

基本目標	自分らしい生活と生きがいつくり			
重点課題	介護予防と社会参加の推進			
主な取組	「一般介護予防事業」では、元気アップ教室を令和7年度28教室開催し、前年より開催数が1回少なかったため参加者数は計画値を下回ったが、教室開始時と比較して“週に1回以上運動している高齢者”の割合が終了時には上昇し、高齢者のフレイル予防の推進に寄与した。また、65歳からの健康づくり講座等において、フレイル予防や生活習慣の改善に必要な知識について周知啓発し、高齢者の健康意識の醸成に寄与した。しかし、今後は、新規参加者を増やすための効果的な情報発信等が必要である。 「高齢者居場所づくり事業」では、高齢者等が気軽に集える居場所の開設・運営を行う個人又は団体に助成金を交付し、その活動を支援することで、高齢者の介護予防や健康づくりに寄与した。しかし、参加者の高齢化等により、居場所の開設数と参加者数が減少しているため、これまで居場所に参加したことがない高齢者へのアプローチと活動の継続支援、新規居場所を増やすための効果的な情報発信等が必要である。			
	施策	主な事業	事業実績	令和6年度
	介護予防・重度化の防止の推進	一般介護予防事業	「元気アップ教室」参加者数(人)	350人 (達成率：102.9%)
	介護予防・重度化の防止の推進	一般介護予防事業	「フレイル予防講座」参加者数(人)	637人 (達成率：77.7%)
	居場所づくりの推進	高齢者居場所づくり事業	主観的健康感の維持向上率(%)	92.3%
				92.1%

1. 第9期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

(2) 基本目標・重点課題の達成状況

基本目標	共に支え合い、つながる地域づくり			
重点課題	包括的な支援体制の構築			
主な取組	「総合相談支援」では、高齢者のための総合相談窓口として、介護保険をはじめとした様々な相談に応じるとともに、関係機関と連携し、支援を行った。また、老人介護支援センターは地域包括支援センターの窓口（ランチ）として、地域における在宅介護等に関する相談に24時間体制で応じた。 「認知症バリアフリーの推進」については、チームオレンジ登録に向けて、団体やグループへの働きかけに努め、チームオレンジ合計9箇所が認定された。また、年間4回認知症本人のつどいを実施し、認知症本人と認知症ボランティア等の交流を行った。 「介護人材の確保」については、介護サービス事業者に対し、職員の研修受講費用の一部を支援するとともに、ケアプランデータ連携システム導入を支援する内容の研修を実施し、人材確保や業務効率化に寄与した。			
	施策	主な事業	事業実績	令和6年度
	地域包括支援センターの機能強化	総合相談支援	総合相談支援件数（件）	25,500件 (達成率：103.5%)
	認知症施策の推進	認知症バリアフリーの推進	チームオレンジ新規登録数(件)	1件 (達成率：33.3%)
	介護保険サービスの推進	介護人材の確保	介護支援専門員研修受講支援補助金補助対象従業者数（人）	— 44人 (達成率：220.0%)

1. 第9期高松市高齢者保健福祉計画の進捗状況について

(2) 基本目標・重点課題の達成状況

基本目標	安心して暮らし続けられる環境づくり				
重点課題	生活環境の充実				
主な取組	「高齢者福祉タクシー助成事業」では、外出することが難しい在宅の高齢者を対象に、タクシー料金の一部を助成することで、外出支援を図った。高齢者の外出支援に、タクシー助成券は一定の役割を果たしているものの、昨年度に比べ利用人数、利用率ともに減少しており、利用率の増加が課題である。 「一人暮らし・寝たきり高齢者の把握」では、市内各地区において、地区民生委員児童委員連盟の協力の下、一人暮らし・寝たきり高齢者の把握に努め、要援護者台帳を作成することで、災害時や日常の見守りなどに備えた。				
	施策	主な事業	事業実績	令和6年度	令和7年度
	外出支援の充実	高齢者福祉タクシー助成事業	助成券交付人数（人） /助成券使用枚数（枚）	2,183人/14,586件 （達成率：44.5%）	2,155人/13,948件 （達成率：43.1%）
	災害時等の援護体制の充実	一人暮らし・寝たきり高齢者の把握	一人暮らし高齢者数（人） /寝たきり高齢者数（人）	8,696人/123人	8,504人/111人

2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

(1) 基礎調査結果の概要

① 高齢者の暮らしと介護についてのアンケート

- 調査対象及び有効回収数
(調査期間：令和7年12月1日～12月26日【郵送】
令和7年12月1日～令和8年1月7日【WEB】)
- 調査方法 郵送配布、郵送回収・WEB回答

調査種別	調査対象者	標本数	有効回収数	有効回収率	前回有効回収率
① 高齢者	65歳以上の高齢者 (要介護1～5の認定者を除く)	3,000 人	1,738 人	57.9%	(67.2%)
③ 一般市民	40歳以上65歳未満の方	1,000 人	380 人	38.0%	(39.5%)
合 計		4,000 人	2,118 人	53.0%	(57.2%) ※

※前回有効回収率には要介護認定者調査を含む

② 在宅介護実態調査

- 調査対象及び有効回収数
(調査期間：令和7年11月1日～令和8年1月30日)
- 調査方法 認定調査員による聞き取り調査

調査対象者	標本数	有効回収数	有効回収率	前回有効回収率
在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける(受けた)方	982人	978 人	99.6%	(84.5%)

2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

(2) 第9期計画の基本目標ごとのアンケート調査結果について

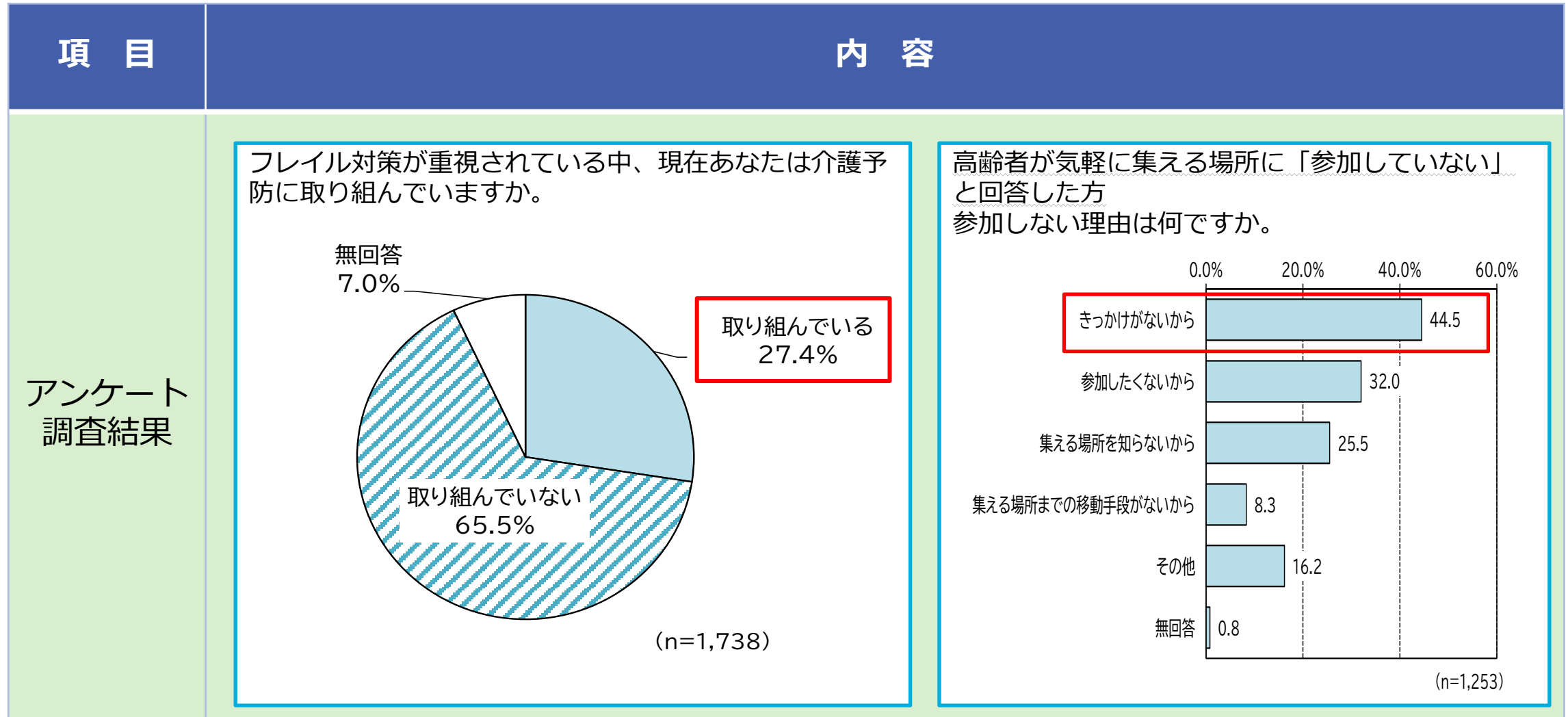
① 基本目標1 自分らしい生活と生きがいづくり

項 目	内 容
アンケート 調査結果	● 「高松市健康都市推進ビジョン（第3次）」が掲げる「健康寿命の延伸」や「主観的健康観の向上」の実現に向けて、運動機能の維持は重要な課題となっています。しかし、フレイル対策や介護予防に取り組んでいる割合は27.4%にとどまっており、高齢者自らが介護予防へ積極的に取り組めるような仕組みづくりと意識啓発のさらなる推進が求められます。 ● 「第4次高松市地域福祉計画」では、全ての人々が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていく「高松型地域共生社会」の実現を目指しています。高齢者の多くが趣味や生きがいを持っているものの、地域の会やグループに参加していない人の割合も高く、高齢者が気軽に集える場所に参加していない最大の理由は「きっかけがない（前回：38.3%→今回：44.5%）」となっています。今後は、高齢者が気軽に参加できる居場所の充実を図るとともに、社会参加への「きっかけづくり」が重要となります。

2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

(2) 第9期計画の基本目標ごとのアンケート調査結果について

① 基本目標1 自分らしい生活と生きがいづくり



2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

(2) 第9期計画の基本目標ごとのアンケート調査結果について

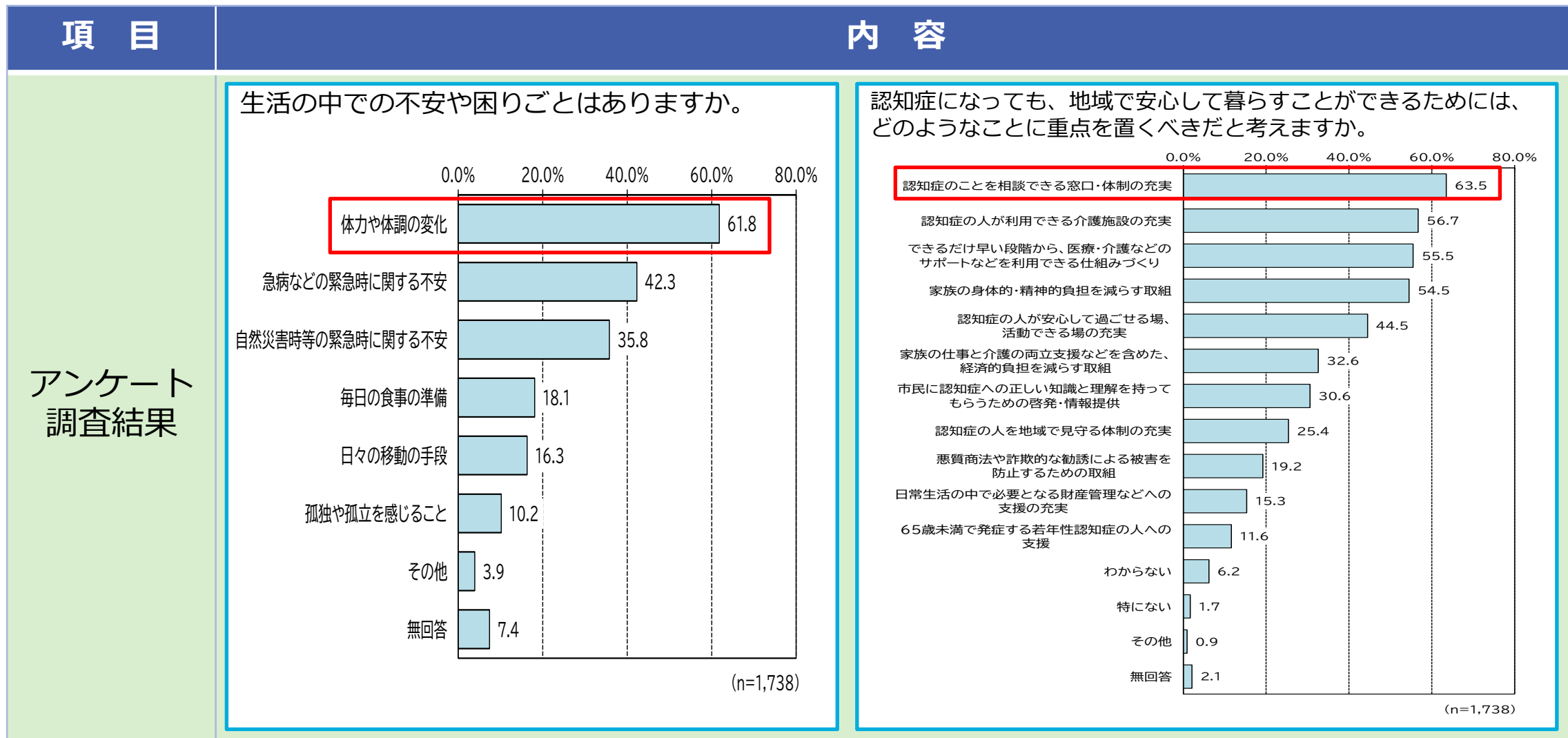
② 基本目標2 共に支え合い、つながる地域づくり

項 目	内 容
アンケート 調査結果	● 日常生活における不安や困りごととして「体力や体調の変化（前回：60.0%→今回：61.8%）」や緊急時の不安が上位となっています。複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、行政だけでなく市民や地域住民が協働し、支え合う包括的な支援体制の構築が必要となっています。 ● 認知症に対しては、家族への負担や大切な思い出を忘れてしまうことへの不安が強く、地域で安心して暮らすためには「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実（前回：62.5%→今回：63.5%）」が最も求められています。認知症の人や家族を地域全体で支える体制を確立するためにも、各種相談窓口のさらなる周知・啓発が必要となります。

2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

(2) 第9期計画の基本目標ごとのアンケート調査結果について

② 基本目標2 共に支え合い、つながる地域づくり



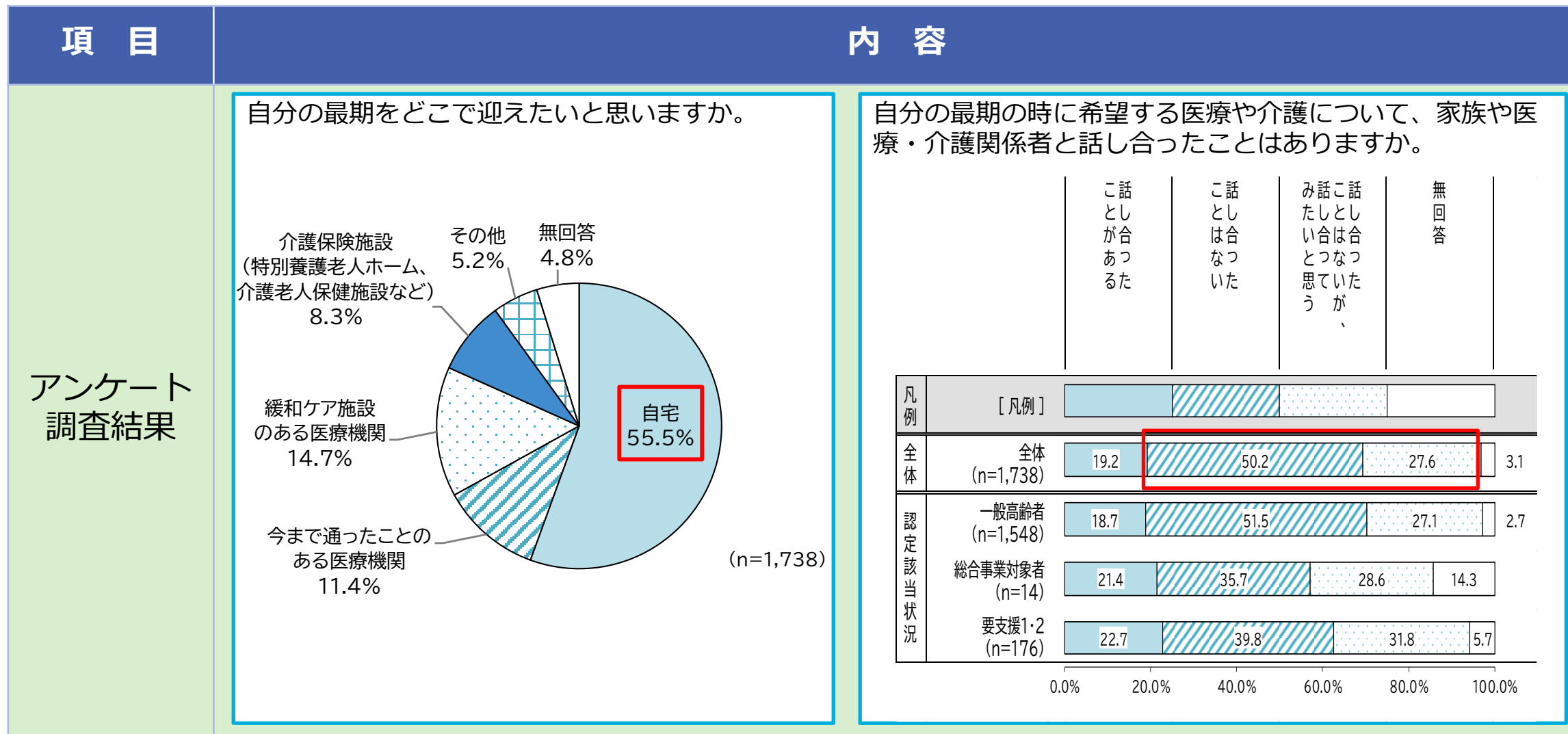
2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

③ 基本目標3 安心して暮らし続けられる環境づくり

項 目	内 容
アンケート 調査結果	● 最期を迎えたい場所について、高齢者では、「自宅」が55.5%と最も多く、次いで「緩和ケア施設のある医療機関」が14.7%となっています。また、今後、介護が必要になった場合の住まいと介護サービスの利用希望について、「在宅での介護サービスを利用して、できる限り現在の住まいや地域に住み続けたい」が32.6%と最も高くなっています。 ● 最期の医療や介護について家族と話し合ったことがない割合は約8割を占めています。いざという時に困らないよう、早い時期からの制度に関する情報提供と、家族間で将来について話し合う機会の創出が求められます。

2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

③ 基本目標3 安心して暮らし続けられる環境づくり



2. 第10期高松市高齢者保健福祉計画策定に係る基礎調査の結果について

(3) 第9期計画の進捗状況及びアンケート調査結果から見える今後の課題

- * 高齢者自らが介護予防へ積極的に取り組めるような仕組み
- * 高齢者が気軽に参加できる居場所の充実と社会参加への「きっかけづくり」
- * 認知症の人と家族の暮らしを支えるための体制
- * 各種相談窓口を活用するための認知度向上
- * 人生の最期を自分らしく迎えるための仕組み

3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

（１） 計画策定の趣旨

本市では、令和６年３月に策定した「第９期高松市高齢者保健福祉計画（令和６～８年度）」における基本理念「高齢者が住み慣れた地域で希望を持って、自分らしく安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現」を目指し、各種施策を推進している。

現行計画が令和８年度末に計画期間満了となることから、令和９～１１年度を計画期間とする「第１０期高松市高齢者保健福祉計画」を策定する。

（２） 計画策定の根拠等

本計画は、老人福祉法（第２０条の８）の規定に基づく「老人福祉計画」、介護保険法（第１１７条第１項）の規定に基づく「介護保険事業計画」及び共生社会の実現を推進するための認知症基本法（第１３条第１項）の規定に基づく「認知症施策推進計画」を一体的に策定するものである。

本市においては、第１０期計画を、地域包括ケアシステムの「深化」に向けた計画として位置付ける。

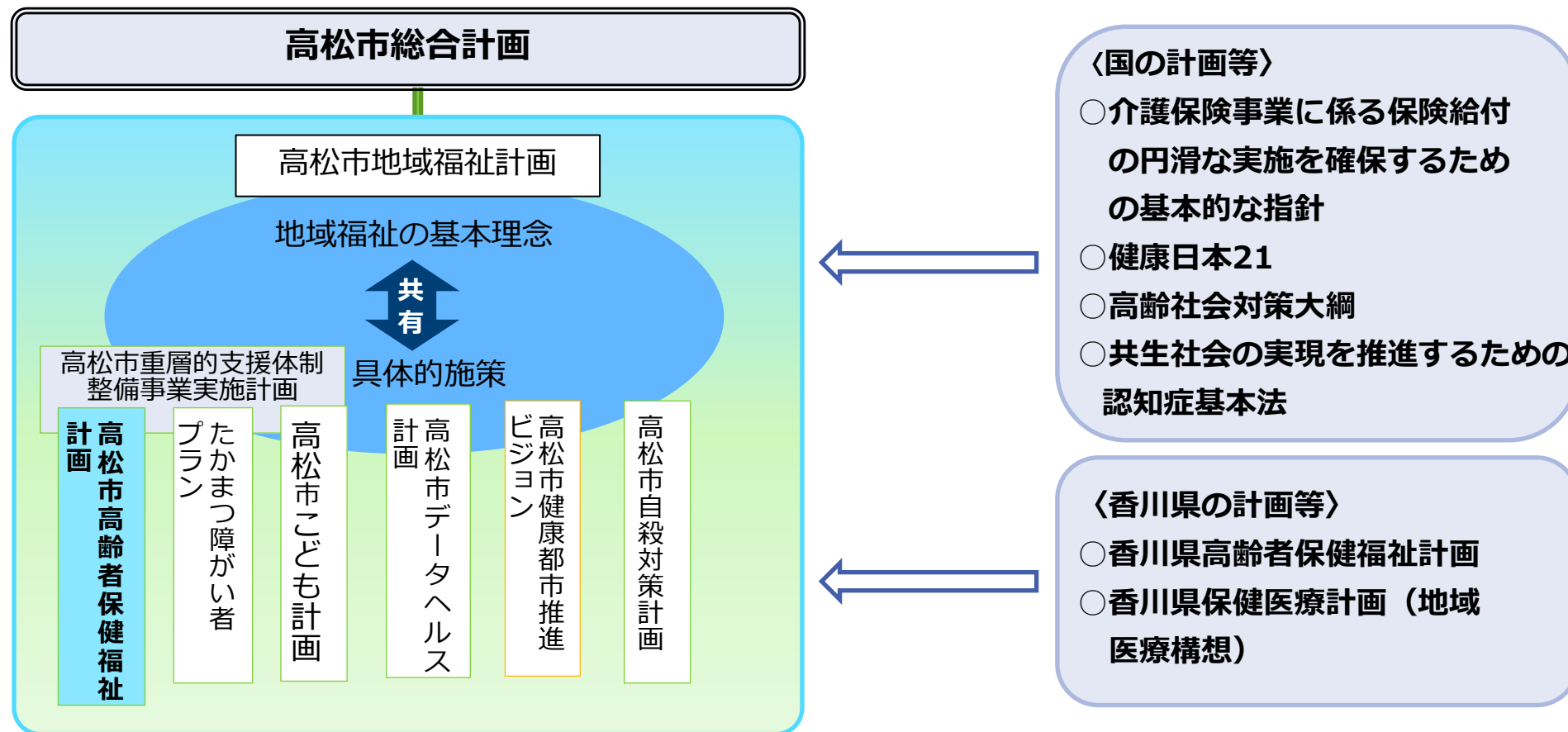
H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
2025年に向けて、地域包括ケアシステムを段階的に構築								2040年に向けて、地域包括ケアシステムを深化			
第７期 高齢者保健福祉計画			第８期 高齢者保健福祉計画			第９期 高齢者保健福祉計画			第１０期 高齢者保健福祉計画		
充 実			発 展			実 現			深 化		

3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

（3） 他の計画との関係

本計画は、高松市の最上位計画である「第7次高松市総合計画」の分野別計画であり、本市の高齢者福祉・介護保険事業の総合的な計画である。

また、老人福祉法の規定等に基づき、高松市地域福祉計画や老人の福祉に関する事項を定める計画等と調和を保つとともに、国及び県の関連計画等とも整合性を図りながら、施策を総合的かつ計画的に推進するものである。



3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

（4） 国の基本指針（案）

●第10期計画において基本指針に盛り込むことが考えられる主な事項（案）

1. 介護サービス基盤の計画的な整備
 - 2040年を見据えた中長期的な推計、共通の課題認識の上で地域関係者を含むサービス提供体制の在り方検討
 - 計画策定における都道府県の関与や医療・介護連携の強化等のため、計画の策定過程における議論のプロセスを整理
 - 確認すべき指標や状況の提示等による、地域の現状把握・分析や計画策定を支援
 - 地域の類型を念頭に置き、中山間・人口減少地域においては、必要な対応について議論
 - 医療との連携状況や高齢者向け住まいの入居の状況等を踏まえたサービス提供体制の構築
2. 地域包括ケアシステムの深化に向けた取組
 - 総合事業の多様なサービス・活動の充実に向け、多様な主体とのつながりづくり等の更なる支援や質の向上を図るための分析・評価等を推進
 - 頼れる身寄りがない高齢者等の生活ニーズに対し、関係者を含めて地域全体で対応を協議し、切れ目のない支援が提供される地域づくりを推進
 - 認知症基本法及び認知症施策推進基本計画を踏まえた取組の推進
3. 地域包括ケアシステムを支える介護人材確保及び介護現場の生産性向上
 - 都道府県主体で介護人材確保に関するプラットフォームを構築するとともに、生産力向上等の取組の促進を図るための協議会を設置し、地域の関係者が協働して課題解決に向けた実践的な取組を推進
 - テクノロジーの更なる活用等による生産力向上や、協働化・大規模化の推進等による経営基盤の強化等を推進

3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

（5） 計画の構成

第9期計画においては、計画の概要や本市の現状についての記載を「第Ⅰ部 総論」、基本理念や目標等についての記載を「第Ⅱ部 ビジョン編」に分け、本市が目指す高齢者保健福祉の将来像を示し、「第Ⅲ部 プラン編」で主な取組について記載している。

2040年頃には、85歳以上人口の急増による、医療・介護双方のニーズを有する高齢者が増加する一方で、生産年齢人口の急減が見込まれる中、第10期計画では、地域包括ケアシステムの更なる深化に取り組むことにより、その先の地域共生社会の実現に向けた中核的な基盤づくりを進めていく。

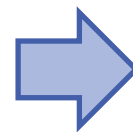
また、本市の高齢者保健福祉計画においては、地域包括ケアシステム構築に向けて、第10期計画を「深化」の計画と位置付けて取り組むことから、国の状況も踏まえ、認知症施策推進計画に関する記載を充実し、更なる取組の強化・推進を図っていく。

（6） 計画の基本理念

第10期計画は、これまで推進してきた計画の「深化」の計画であることから、計画の継続性にも配慮しつつ、高齢者が住み慣れた地域で安心して、自分らしく生きがいのある充実した生活を続けられる地域共生社会の実現を目指す。

●第9期計画（現行）

高齢者が住み慣れた地域で希望を持って、
自分らしく安心して暮らし続けられる
地域共生社会の実現



●第10期計画（予定）

高齢者が住み慣れた地域で安心して、
自分らしく生きがいのある充実した生活を
続けられる地域共生社会の実現

3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

（7） 計画の基本目標・重点課題

今後、高齢者が住み慣れた場所で暮らしていくためには、自らの健康を保ち、自らが役割を持つことで、生きがいを感じる事が重要であり、そのような高齢者が地域を支える人材としての役割を担いながら、自分らしい生活をする必要がある。

また、地域共生社会の実現に向け、高齢者を取り巻く複雑化・複合化した地域生活課題に対応していくために、より一層包括的な支援体制の構築を進める必要がある。

第9期計画の基本目標及び重点課題を基に、第10期計画においても、介護予防や認知症施策、地域共生社会の構築等を中心に取り組んでいくこととする。

●第10期計画（予定）

①	基本目標	自分らしい生活と生きがいづくり
	重点課題	介護予防と社会参加の推進
②	基本目標	共に支え合い、つながる地域づくり
	重点課題	包括的な支援体制の構築
③	基本目標	安心して暮らし続けられる環境づくり
	重点課題	生活環境の充実

3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

（8） 施策の体系図

基本理念	基本目標	重点課題	施策（案）
高齢者が住み慣れた地域で安心して、 自分らしく生きがいのある充実した生活を 続けられる地域共生社会の実現	自分らしい生活と 生きがいづくり	介護予防と社会 参加の推進	* 介護予防・重度化防止の推進 * 居場所づくりの推進 * 健康づくりの推進 * 社会参加・生きがいづくりの促進 * 包括的な相談・支援体制の推進 * 認知症施策の推進 * 地域包括支援センターの機能強化 * 介護保険サービスの推進 * 在宅医療・介護連携の充実 * 住まいの整備・充実 * 外出支援の充実 * 安全で住みよい環境づくりの推進 * 災害時等の援護体制の充実 等 （施策の内容や順番等については今後整理予定）
	共に支え合い、 つながる地域 づくり	包括的な支援 体制の構築	
	安心して暮らし 続けられる環境 づくり	生活環境の充実	

3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

（9） 認知症施策推進計画に関する記載の充実

高齢化の進行に伴う認知症高齢者の増加が見込まれる中、国の計画を踏まえ、「認知症本人の声」を起点とした認知症施策を検討し、認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、「認知症施策推進計画」を第10期高松市高齢者保健福祉計画と一体的に策定する。

目 指 す 姿

認知症になってからも可能な限り希望する暮らしを続けられるまち

基 本 的 な 考 え 方

市民一人ひとりが認知症をわがことと考え、理解しようとする

目標 1	認知症への理解と協力が得られる	▶	施策 1	認知症に関する理解の増進等
目標 2	他者とながら、やりたいことに挑戦できる	▶	施策 2	認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進・社会参加の機会の確保
目標 3	安心して安全に生活できる	▶	施策 3	認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護
		▶	施策 4	相談支援体制の充実
目標 4	自分らしく健康に暮らしていける	▶	施策 5	認知症の予防（備え）

3. 第10期高松市高齢者保健福祉計画の骨子（案）について

(10) 第10期高松市高齢者保健福祉計画の策定に向けたスケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
連絡会 本部会	第1回 下旬 (書面会議)					第2回 上旬予定			
政策会議						第1回 下旬予定			
運営 協議会		第2回 8/26					第3回 1/20予定	第4回 2/17予定	
調査会							第1回 下旬予定		
主な 協議内容	・第10期計画骨子案				・サービス見込量 ・次期介護保険料、施設整備方針等 ・第10期計画素案			・第10期計画最終案	
介護保険 事業計画			サービス見込量・ 介護保険料仮算定			介護報酬改定 ↓ 介護保険料(案)	パブリックコメント ※国の動向により、12月に決定できない場合は継続協議とする		条例改正